



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月7日

上場会社名 神田通信機株式会社  
 コード番号 1992 URL <http://www.kandt.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神部 雅人

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 田辺 正行

TEL 03-3252-7731

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,472	1.9	106	149.9	147	90.2	111	216.0
2022年3月期第2四半期	2,425	11.6	42	78.4	77	67.0	35	77.7

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 115百万円 (21.7%) 2022年3月期第2四半期 94百万円 ( 57.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	47.18	
2022年3月期第2四半期	14.63	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	7,642	5,004	65.5	2,101.70
2022年3月期	8,352	5,017	60.1	2,117.15

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 5,004百万円 2022年3月期 5,017百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		60.00	60.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				30.00	30.00

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	4.3	300	19.0	350	21.0	230	59.1	97.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	2,623,227 株	2022年3月期	2,623,227 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	242,084 株	2022年3月期	253,413 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	2,372,728 株	2022年3月期2Q	2,420,955 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後、様々な要因によって予測値と異なる結果となる可能性があります。詳細は[添付資料]3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明。」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が依然として鎮静化しておりませんが、社会経済活動の正常化が進み、景気に持ち直しの動きがみられました。一方、長期化する半導体の供給不足による部品供給の滞りやウクライナ情勢等を背景とする原材料やエネルギー価格の高騰、金利・為替・株式等の金融市場の変動等の影響もあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは、2021年4月からスタートした中期経営計画において、企業価値向上に向けた取組み（存在意義の確認）を実行中です。情報・通信事業では、24時間365日対応の強みを活かし、保守料・利用料を増やし、売上増加と収益性の向上を目指しております。PBX市場の減少分は、NW・クラウドPBX・マルチゲートウェイ等の新規事業および、保守料・利用料の増加で補っていく方針です。保守料・利用料は概ね順調に推移しましたが、新規事業は、立ち上がりに時間が掛かっています。成長が見込まれる照明制御事業は、採用事例が増加しており、ゼネコン等への組織的なアプローチで、売上規模拡大に取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は24億72百万円（前年同四半期比1.9%増）となり、営業利益は1億6百万円（前年同四半期比149.9%増）、経常利益は1億47百万円（前年同四半期比90.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億11百万円（前年同四半期比216.0%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 情報通信事業

従来のネットワークインフラの設計・提案・構築、「働き方改革」をキーワードとした、お客様の問題解決につながるソリューション提案を積極的に展開いたしました。また「社会福祉協議会向け会員総合情報システム[こころ]」「各種子供施設様向け支援システム[CoDMON]」「様々な設備をつなぐソフトウェア[マルチゲートウェイ]」等の利用料ビジネスを推進しました。保守料・利用料が概ね順調に推移したことに加え、収益性向上策の推進により利益率の向上につながりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は22億68百万円（前年同四半期比2.9%増）、営業利益は1億1百万円（前年同四半期比116.7%増）となりました。

#### ② 照明制御事業

DALI制御による照明制御システムの設計・販売・施工を軸として、売上規模の拡大のため、ゼネコン等を中心に積極的にビジネスを展開いたしました。新築ビル案件のスマートビル化対応では[マルチゲートウェイ]の需要が増えており、大手ゼネコンや照明メーカーとの他社協創も進めています。しかしながら、前年同四半期と比べて、受注残売上が少なかった影響により売上が前年を下回りました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1億74百万円（前年同四半期比9.0%減）、営業損失は12百万円（前年同四半期は営業損失21百万円）となりました。

#### ③ 不動産賃貸事業

不動産の賃貸を事業としており、売上高は30百万円（前年同四半期比0.2%減）、営業利益は17百万円（前年同四半期比0.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は76億42百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億10百万円減少しました。これは主に、受取手形、完成工事未収入金等及び契約資産が5億47百万円、投資有価証券が88百万円、現金預金が79百万円減少したこと等によります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は26億37百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億97百万円減少しました。これは主に、支払手形・工事未払金等が4億78百万円、未払法人税等が76百万円減少したこと等によります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は50億4百万円となり、前連結会計年度末と比較して12百万円減少しました。これは主に、利益剰余金が30百万円減少したこと等によります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は前連結会計年度末と比較して79百万円減少し23億57百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は58百万円（前年同四半期は3億23百万円の支出）となりました。これは主に売上債権の減少5億89百万円等の増加要因があった一方、仕入債務の減少4億77百万円等の減少要因があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は1億57百万円（前年同四半期は1億59百万円の収入）となりました。これは主に投資有価証券の償還による収入1億円等の増加要因があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1億78百万円（前年同四半期は1億70百万円の支出）となりました。これは主に配当金の支払額1億40百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月12日の「2022年3月期決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。なお、上記の予想は新型コロナウイルスの影響は限定的であると見込んでおりますが、半導体（関連部品含）不足による交換機の生産遅れによる納期への影響を織り込んでおります。新型コロナウイルス感染症や半導体不足の先行きは不透明であることから、今後、様々な要因の変化が生じた場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。業績見通しの修正の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	2,799,073	2,719,419
受取手形、完成工事未収入金等及び契約資産	1,838,529	1,290,538
未成工事支出金	70,941	103,029
仕掛品	8,319	4,543
その他の棚卸資産	4,486	4,506
その他	147,528	148,767
貸倒引当金	△3,530	△2,889
流動資産合計	4,865,348	4,267,914
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	293,085	283,812
土地	1,240,673	1,240,673
その他（純額）	15,039	12,426
有形固定資産合計	1,548,798	1,536,913
無形固定資産		
	47,406	42,828
投資その他の資産		
投資有価証券	1,358,000	1,269,658
繰延税金資産	157,544	148,984
その他	391,780	392,610
貸倒引当金	△16,620	△16,700
投資その他の資産合計	1,890,703	1,794,553
固定資産合計	3,486,908	3,374,294
資産合計	8,352,257	7,642,209

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,167,514	689,236
短期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	151,134	74,427
賞与引当金	176,670	174,240
役員賞与引当金	26,415	2,000
その他	522,981	397,006
流動負債合計	2,244,716	1,536,911
固定負債		
リース債務	212,606	207,580
退職給付に係る負債	808,223	820,766
役員退職慰労引当金	47,886	50,927
その他	21,575	21,575
固定負債合計	1,090,292	1,100,849
負債合計	3,335,008	2,637,761
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,310,825	1,310,825
資本剰余金	1,097,909	1,103,093
利益剰余金	2,268,643	2,238,393
自己株式	△186,529	△177,928
株主資本合計	4,490,848	4,474,382
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	520,217	526,973
退職給付に係る調整累計額	6,183	3,091
その他の包括利益累計額合計	526,400	530,065
純資産合計	5,017,249	5,004,448
負債純資産合計	8,352,257	7,642,209

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	2,425,666	2,472,697
売上原価	1,777,148	1,741,003
売上総利益	648,518	731,694
販売費及び一般管理費	605,979	625,380
営業利益	42,539	106,313
営業外収益		
受取配当金	12,157	16,181
受取手数料	20,379	22,262
その他	4,172	5,301
営業外収益合計	36,708	43,745
営業外費用		
支払利息	1,269	1,313
その他	393	1,145
営業外費用合計	1,662	2,458
経常利益	77,585	147,600
特別利益		
投資有価証券売却益	—	31,031
特別利益合計	—	31,031
税金等調整前四半期純利益	77,585	178,631
法人税、住民税及び事業税	32,270	59,739
法人税等調整額	9,893	6,953
法人税等合計	42,164	66,692
四半期純利益	35,421	111,939
親会社株主に帰属する四半期純利益	35,421	111,939

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	35,421	111,939
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59,177	6,756
退職給付に係る調整額	394	△3,091
その他の包括利益合計	59,572	3,664
四半期包括利益	94,993	115,603
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	94,993	115,603

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	77,585	178,631
減価償却費	18,608	18,651
株式報酬費用	3,002	4,473
退職給付費用	—	△4,455
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9,642	△560
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,895	△2,430
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△23,475	△24,415
受注工事損失引当金の増減額(△は減少)	△3,978	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	20,047	12,542
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,041	3,041
受取利息及び受取配当金	△13,730	△17,591
支払利息	1,269	1,313
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△31,031
売上債権の増減額(△は増加)	280,541	589,482
棚卸資産の増減額(△は増加)	242,737	△28,331
仕入債務の増減額(△は減少)	△711,490	△477,778
未払消費税等の増減額(△は減少)	△71,647	△104,157
その他の資産の増減額(△は増加)	8,104	10,439
その他の負債の増減額(△は減少)	△26,527	△69,577
小計	△188,165	58,246
利息及び配当金の受取額	13,913	17,919
利息の支払額	△1,314	△1,316
法人税等の支払額	△147,631	△133,218
営業活動によるキャッシュ・フロー	△323,198	△58,367
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△334,688	△334,688
定期預金の払戻による収入	334,688	334,688
有形固定資産の取得による支出	△5,744	△2,362
有形固定資産の売却による収入	129,200	—
投資有価証券の売却による収入	—	31,360
投資有価証券の取得による支出	△2,535	△2,592
投資有価証券の償還による収入	—	100,000
リース投資資産の回収による収入	41,108	35,334
差入保証金の差入による支出	△228	△440
差入保証金の回収による収入	242	485
無形固定資産の取得による支出	—	△2,059
貸付金の回収による収入	90	90
その他の支出	△2,687	△2,687
投資活動によるキャッシュ・フロー	159,445	157,127
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△36,721	△38,154
配当金の支払額	△83,650	△140,195
自己株式の取得による支出	△15,243	△56
自己株式取得のための預託金の増減額(△は増加)	△34,858	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△170,473	△178,406
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△334,226	△79,646
現金及び現金同等物の期首残高	2,329,102	2,437,357
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,994,876	2,357,711

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計(千円)
	情報通信事業 (千円)	照明制御事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	2,204,081	191,424	30,160	2,425,666
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,204,081	191,424	30,160	2,425,666
セグメント利益又は セグメント損失(△)	46,623	△21,915	17,831	42,539

(注) セグメント利益又はセグメント損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計(千円)
	情報通信事業 (千円)	照明制御事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	2,268,371	174,235	30,090	2,472,697
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,268,371	174,235	30,090	2,472,697
セグメント利益又は セグメント損失(△)	101,012	△12,587	17,888	106,313

(注) セグメント利益又はセグメント損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。